

鳥取県における 原子力防災対策の取り組み (平成30年度)

平成30年7月13日(金)
原子力安全対策課

1

1. 今年度の原子力防災対策の取組方針
2. 年間スケジュール
3. 原子力防災訓練【島根原子力発電所対応】
4. 原子力防災訓練【人形峠環境技術センター対応】
5. 原子力防災研修

2

1 今年度の原子力防災の取組方針

- 方針
- ・島根原子力発電所及び人形峠環境技術センターの情報把握を行い、原子力事業者に対して安全確保を求めるとともに県民への迅速かつ的確な情報提供及び必要な資機材整備を行う。
 - ・特に、基盤的整備(H25～27)の成果を基礎とした、原子力防災体制のさらなる実効性向上を目的とした現中期整備計画(H28～30)の最終年度として仕上げを行うとともに、次期中期整備計画の検討行う。
- 重点実施項目
- (1)原子力安全対策
- ・島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査、1号機廃止措置及び3号機への適確な対応
 - ・原子力安全顧問による安全性の確認、原子力安全対策合同会議等による住民との情報共有
- (2)原子力防災体制の整備
- ・島根地域原子力防災協議会において緊急時対応の確認等の重要事項を協議(所管:内閣府)
 - ・引き続き、避難等の防護措置の実効性の向上(輸送手段の確保と要請スキームの明確化等)
 - ・先進システム(先進補給システム、避難オペレーション、ドローン等)の戦力化
- (3)原子力防災訓練の実施
- ・基本訓練と組織訓練、機能別訓練を計画的かつ段階的に実施していく。
 - ・実動訓練等については、関係自治体との共同訓練を基本とし、連携推進を図る。
- (4)住民等への普及啓発の促進
- ・放射線や原子力防災対策に対する知識の普及啓発の実施(研修会、現地研修会等)
- (5)安全協定の改定等
- ・原子力事業者との安全協定の改定等

引き続き全庁的な取組みとして推進

3

2 年間スケジュール

※2018/7/12現在

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
訓練		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">船舶訓練 8/18</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">図上訓練 8月 下旬</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">島根原子力発電所対応 10/26, 30</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">人形峠環境技術センター対応</div>	
普及啓発	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">避難先・避難経路確認訓練 4/8</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">現地研修会 4/22</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">講演会 7/8 〔境港市役所〕 ※7/7 開催予定の米子市は中止</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">現地研修会 8/5</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">原子力災害対策要員研修会 8/21 〔米子コンベンション〕</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">現地研修会 11月上旬</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">避難先・避難経路確認訓練</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">避難先・避難経路確認訓練</div>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">原子力防災基礎研修会 7/24 〔倉吉体育文化会館〕 7/26 〔米子商工会議所〕</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">放射線研修会 7/31 〔エキバル倉吉〕 8/1 〔東部庁舎〕</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;">バス研修 8/31</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">バス研修 2月中旬 〔東部又は中部〕</div>

※現段階での予定であり、今後変更する場合があります。

4

3 原子力防災訓練【島根原子力発電所対応】

実施日：

10月26日（金）初動対応訓練【2県6市合同】

- ・本部等運営、オフサイトセンター、緊急時モニタリング訓練を実施

10月30日（火）住民避難訓練【2県6市合同】

- ・住民・避難行動要支援者等避難、原子力災害医療活動訓練等を実施
- ・住民避難（船舶）訓練等は別日で実施予定
- ・今年度の避難退域時検査等会場は大山町の中山農業者トレーニングセンターを予定

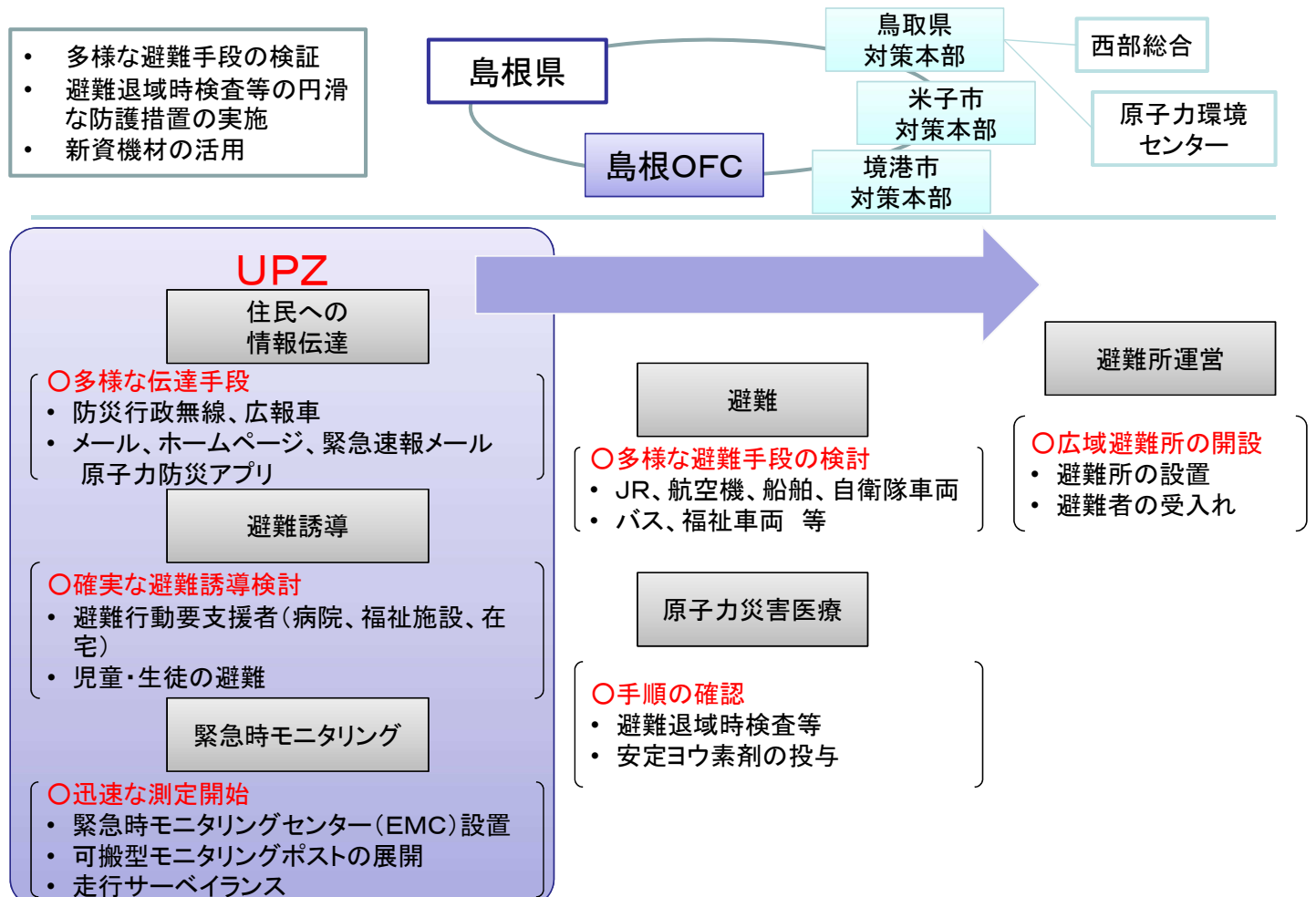
【参考】鳥取県単独訓練

8月下旬 原子力防災図上訓練

- ・県庁関係部局の職員を対象とした図上訓練を実施

5

原子力防災訓練（島根原子力発電所対応）イメージ



6

4 原子力防災訓練【人形峠環境技術センター対応】

実施日：平成30年10月又は11月頃 実施予定
岡山県との合同訓練

【鳥取県訓練内容（案）】

- ・ 対策本部訓練
- ・ オフサイト訓練
- ・ 機能別訓練（緊急時モニタリング訓練 ほか）

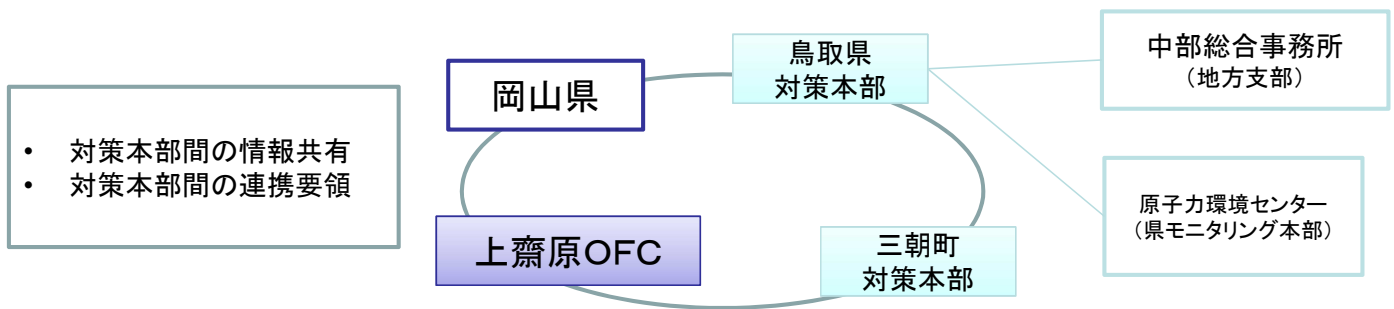
【参考】岡山県訓練内容

岡山県は昨年度と同じく本年度も総合訓練（図上＋実動訓練）を実施

- ・ 対策本部及びオフサイトセンターにおける図上訓練
- ・ 機能別訓練も合わせて実施

7

原子力防災訓練（人形峠環境技術センター対応）イメージ



<機能別訓練(例)>



《訓練運営支援業務委託》

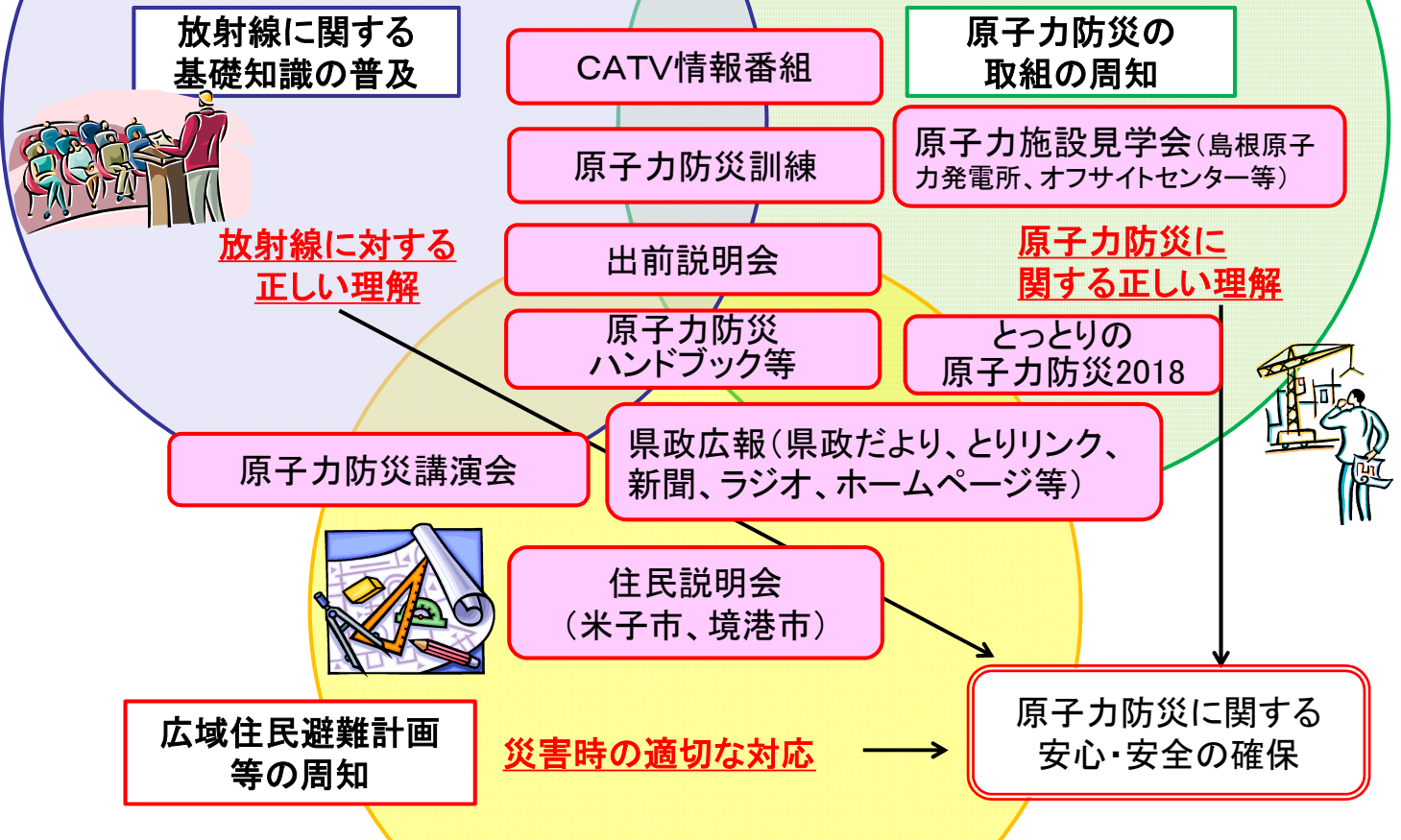
訓練が円滑に実施され、訓練目的が達成できるよう、訓練運営支援（訓練評価を含む）について業務委託する予定。

（委託先については、岡山県の運営支援委託業務先と同一業者を想定。）

8

5 原子力防災研修

原子力防災対策については、住民の放射線に対する正しい理解と防護対策への共通の理解が重要であるため、普及・啓発活動をPull型・Push型など様々な形で実施



原子力防災普及啓発(講演会)

I 原子力防災講演会(全県民対象)

放射線や放射線防護などについて学び、県民の方が原子力災害時に適切な対応や行動[外部被ばく・内部被ばくへの注意、屋内退避の有効性、避難等]がとれるようにするため、県民を対象とした原子力防災講演会を開催。

この講演会は、福島第一原子力発電所事故後の平成24年1月より毎年開催。

平成30年度講演会の開催内容

- ・開催時期: 7月8日(日) ※7月7日(土)の米子市開催は警報発令により中止
- ・会場: 境港市保健相談センター
- ・内容: [演題]原子力災害時の対応方法
[講師]東京大学特任専門職員 飯塚 裕幸氏
- ・参加者: 約80名

【平成29年度講演会開催内容】

- (1) 日時 6月17日(土)、18日(日)
- (2) 場所 米子市役所401会議室、境港市保健相談センター
- (3) 参加者 県民 約120名
- (4) 内容
[演題]放射線と私たちの健康
[講師]長崎大学原爆後障害医療研究所
助教 折田 真紀子(おりた まきこ)氏
- (5) 実施体制
主催: 鳥取県、境港市、米子市
後援: 日吉津村、大山町、伯耆町、南部町、日南町、日野町、江府町



原子力防災普及啓発(研修会)

II 放射線研修会(東部・中部地域の住民及び行政職員を対象)

原子力災害発生時の住民避難については、UPZの住民だけでなく、避難先の住民等の理解も必要である。広域住民避難計画において、県内を避難先としており、平成25年度より毎年、東・中部地域の県民、市町や県の職員を対象として、放射線の人体への影響や放射線〔外部被ばく・内部被ばくへの注意、屋内退避の有効性等〕に関する研修会を開催。

平成30年度研修会の開催内容(予定)。

- ・開催時期:7月31日(火)、8月1日(水)
- ・会場: 駅パル倉吉、鳥取県東部庁舎
- ・内容:〔演題〕放射線による人体への影響等、住民からの相談対応等行政活動
〔講師〕岡山大学医学部保健学研究科 教授 山岡 聖典氏

【平成29年度実績】

	中部地域	東部地域
日時	7月31日(月)13:30~15:00	8月1日(火)10:00~11:45
会場	県立倉吉体育文化会館 小研修室2 〔倉吉市山根〕	県東部庁舎 第202会議室 〔鳥取市立川町〕
参加者	中部地域の市町・県職員等 約20名	東部地域の市町・県職員等 約20名
内容	〔演題〕福島第一原発事故の教訓を得て～今から学ぶ放射線と健康影響～ 〔講師〕公益財団法人 原子力安全研究協会 研究参与 菊地 透(きくち とおる)氏	
実施体制	・主催:鳥取県 ・共催:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、 北栄町、琴浦町	・主催:鳥取県 ・共催:鳥取市、岩美町、八頭町、 若桜町、智頭町

11

原子力防災普及啓発(現地研修会〔見学会〕)

III 原子力防災現地研修会(全県民対象)

原子力発電についての正しい知識と防災・安全対策などについて県民の方に知っていただくため、平成24年度から原子力防災研修会(見学会)を開催。

平成30年度の現地研修会(見学会)

- ・開催時期:県民向け2回(4/22(14人参加)、11/2)、小中学生向け1回(8/5)の計3回予定。
- ・会場:鳥根原子力防災センター、鳥根原子力発電所
- ・内容:原子力発電の仕組みや鳥根原子力発電所の現状と安全対策、国・県が行っている防災・安全対策などについて。

【平成29年度実績】

	第1回	第2回(夏休みバージョン)	第3回
日時	平成29年4月23日(日) 10:30~15:30	平成29年8月6日(日) 10:40~15:30	平成29年10月25日(水) 10:30~15:20
参加者	県民 24名	小学5年生以上の小中学生とその 保護者32組73名	県民 23名
研修先・ 研修内容	○鳥根原子力防災センター 〔松江市内中原町〕 ・原子力発電・放射線について ・原子力防災について ・鳥取県の原子力防災について ・施設内見学 質疑応答 ○中国電力(株)鳥根原子力・発電所 〔松江市鹿島町〕 ・概要説明 原子力館内見学 ・発電所構内見学(バス車窓) ・質疑応答	○鳥根原子力防災センター 〔松江市内中原町〕 ・放射線って何だろう? ・どうやって避難するの? ・原子力防災って何だろう? ・放射線を測定してみよう 質疑応答 ○中国電力(株)鳥根原子力発電所 〔松江市鹿島町〕 ・概要説明 原子力館内見学 ・発電所見学(バス車窓) 質疑応答 ※バス車内でのDVD研修 放射線の利用、原子力防災訓練	○鳥根原子力防災センター 〔松江市内中原町〕 ・原子力発電・放射線について ・原子力防災について ・鳥取県の原子力防災について ・施設内見学 質疑応答 ○中国電力(株)鳥根原子力発電所 〔松江市鹿島町〕 ・概要説明 原子力館内見学 ・発電所構内見学(バス車窓) ・質疑応答

12

原子力防災普及啓発(避難先・避難経路確認訓練)

IV 避難先・避難経路確認訓練

平成28年度から広域住民避難計画で計画している避難経路や避難退域時検査会場、避難先施設等の住民による確認訓練を実施。

平成30年度の避難先・避難経路確認訓練についても、UPZ圏内の米子市、境港市と連携して、訓練参加地区・参加者の調整を行うとともに、避難先施設等の確認に係る関係市町との協力・調整を行い実施予定。

【平成27年度】

参加地区	日時	行程等
米子市加茂地区	平成27年 9月30日(水)	加茂公民館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場である名和農業者トレーニングセンター等を確認。18名参加。
境港市中浜地区	平成28年 3月13日(日)	中浜公民館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場である名和農業者トレーニングセンター等を確認。26名参加。

【平成28年度】

参加地区	日時	行程等
米子市和田地区	平成29年 3月29日(水)	和田公民館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場及び避難先である倉吉交流プラザ等を確認。
境港市米川地区	平成29年 3月26日(日)	市民体育館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場及び避難先である面影地区公民館等を確認。

【平成29年度～】

参加地区	日時	行程等
米子市住吉地区	平成30年 3月10日(土)	住吉小学校(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場及び避難先である東伯総合公園体育館や成徳公民館等を確認。34名参加
境港市誠道町	平成30年 4月8日(日)	誠道公民館(一時集結所)に集合後、バスで出発。 避難退域時検査会場及び避難先である東伯総合公園体育館や岩美中学校等を確認。20名参加



原子力防災普及啓発

V CATVによる防災情報の提供(平成29年9月～)

(1) 目的等

原子力防災対策や日ごろの備えなど、県民(特にUPZ)に知っていただきたい内容を紹介するほか、原子力防災訓練の実施などの情報を中海テレビで放送し、普及啓発を行う。

(2) 情報番組の内容等

ア 番組名 とつとりの原子力防災 ～知ろう、学ぼう、考えよう～
イ 放送回数等 週2回以上。年間計100回以上。番組の長さ2分

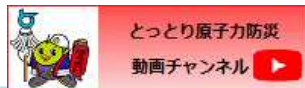
(3) 放送終了後、放送番組は県の「動画チャンネル」で閲覧可能

とつとりの原子力防災

～知ろう、学ぼう、考えよう～

第1回 鳥取県広域住民避難計画について

【平成29年度放送内容】



年月	原子力防災情報	今月のお知らせ
平成29年	9月 広域住民避難計画	1号機の廃止措置
	10月 住民避難について	原子力防災訓練
	11月 情報伝達	緊急速報(エリア)メール
	12月 屋内退避の効果	2号機の審査状況等
平成30年	1月 避難退域時検査	原子力防災アプリ
	2月 安定ヨウ素剤	避難計画の修正(パブコメ)
	3月 原子力災害医療	2号機の審査状況等
	4月 環境放射線の測定	地域防災計画等の修正
	5月 広域住民避難計画の修正	原子力講演会
	6月 原子力災害医療体制	原子力防災訓練(船舶)

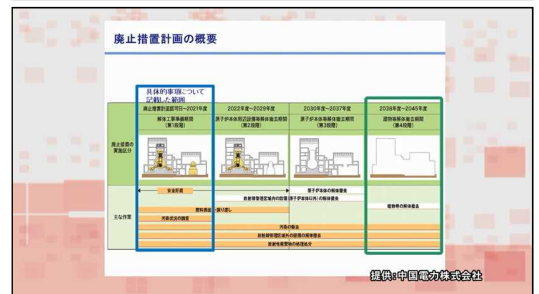
鳥根原発で事故が発生した場合の**避難計画**には...

・どうすればいいのかわからない

・どうやって避難すればいいのかわからない

・安定ヨウ素剤とはどういうものかわからない

などが定められています!



VI 原子力防災ハンドブック、とっとりの原子力防災2018

原子力災害に備えて、原子力防災や放射線の基本的な知識の普及啓発のため、広報紙を作成(昨年度作成したハンドブック等の改訂版)。

原子力防災のハンドブック、チラシ(小・中学生用)の改訂版を作成。また、原子力防災対策、安全対策等に関する取組状況をまとめた冊子「とっとりの原子力防災2018」を作成。
【実施内容】 原子力防災のハンドブックを県内全戸への配付(市報への折込) 等



データは原子力安全対策ホームページに掲載予定。
<http://www.genshiryoku.pref.tottori.jp/>